

糖尿病患者の意識障害には、

1. 糖尿病ケトアシドーシスで糖尿病が発症
 2. 糖尿病治療中患者が治療中断や感染症に合併して
 3. 脱水と高浸透圧を中心とした高血糖高浸透圧症候群
 4. 低血糖症
 5. 乳酸アシドーシス
-

清涼飲料水ケトーシスの疫学

1. 男性が多い 5:1
2. 発症年齢は平均男性30代、女性40代
3. 血糖値は、800くらい
4. BMIは平均30くらい
5. 精神疾患を有することが多く、服薬との関連
6. 清涼飲料水を1L以上の摂取が多い
7. 膵島関連自己抗体は陰性
8. 重症感染症や大量飲酒なし

低血糖の直接誘因

- 薬物の種類や量の間違い
- 食事が遅れた
- 食事量、炭水化物量が少なかった
- いつもよりも強い運動の最中、運動後、その夜中や翌朝
(運動後遅発性低血糖症)
- 飲酒後
- 入浴後 (特にインスリン治療中)

低血糖を起こしやすい背景

- 高齢 ○インスリン治療やSU薬 (グリベンクラミド、グルメピリド)
- SU薬にDPP4阻害薬を追加するとき
- 腎機能障害 ○肝機能障害 ○認知症 ○低栄養
- インスリン抗体あり
- 1型糖尿病では、生理開始後 > 生理開始前、更年期前後

劇症1型糖尿病と妊娠との関連

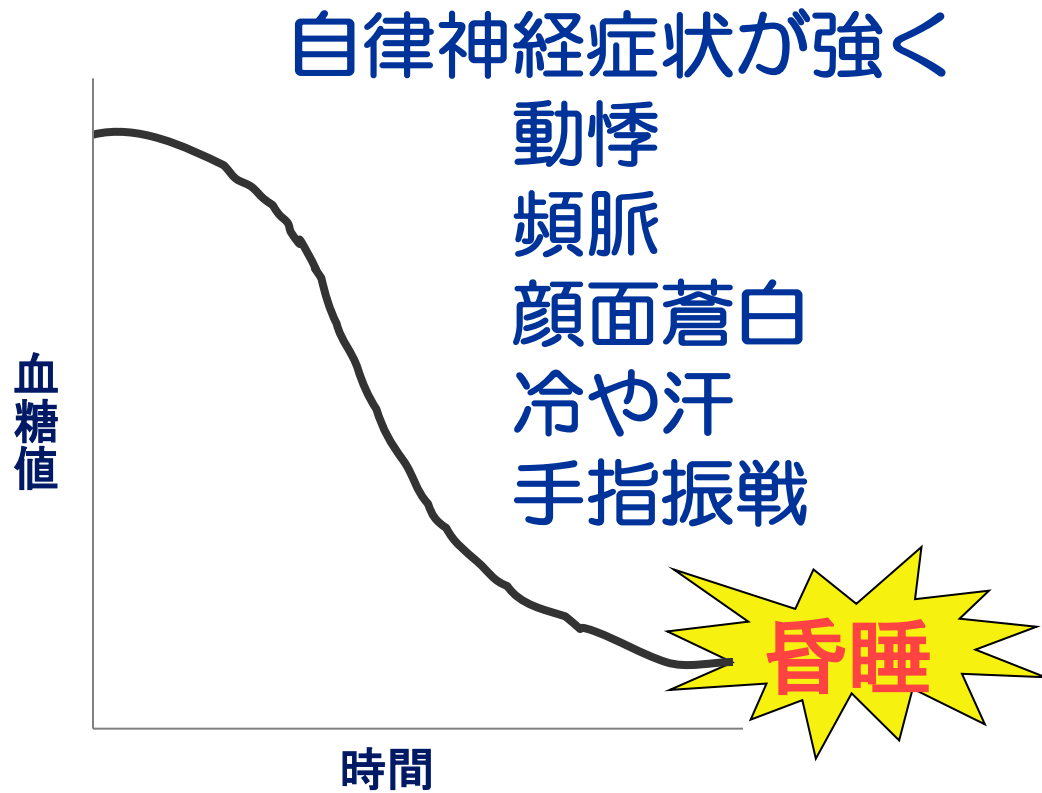
13～49歳の妊娠可能な女性で劇症1型糖尿病を
発症した患者のうち、21.0%が妊娠中あるいは
出産後2週間以内に発症していた。

特に、妊娠後期(第3三半期)に集中している。

劇症1型糖尿病と自己免疫疾患の合併

9.6%程度

無自覚性低血糖症



おこしやすい背景

- 1型糖尿病に多い
- 前兆を前兆と認識できない
- 高齢者
- 更年期
- β ブロッカー服用中
- 何かに夢中の時
- アルコール多飲
- 持効型溶解インスリン > 中間型